

建設産業委員会 会議録

日 時 令和8年7月29日（水曜日） 午後1時30分～午後2時17分
場 所 議会棟 第2委員会室

出席委員の氏名

委員長 芝田 英範	副委員長 大塚 州章	委 員 山手 耕
委 員 河野 巧	委 員 広田 精治	委 員 武生 博明

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

都市デザイン課参事監 矢野 健

出席した事務局職員の職氏名

書記 柴田 監

傍聴者

（ な し ）

協議事項

- ・令和8年度行政視察について
-

午後1時30分 開議

○委員長（芝田英範）

それではただいまより、建設産業委員会を開催をいたしたいと思います。

山手委員は少し遅れそうであります。

今日はこの前に引き続きまして視察先の決定ということで、それぞれ皆さんのモアノートに候補地が入っていると思います。

視察先の候補として「道の駅単体から、まちぐるみの戦略的な取り組みを目指す第3ステージ施策の推進に取り組む10の団体から選定する予定でした。

しかし、それらの団体はまだ取り組みを始めたばかりで、今視察に来られても話すことが無いということで、今回の視察候補地から外し、矢野参事監の知り合いから候補地として提供していただいた、人口規模が臼杵市と大きくかけ離れていない設置自治体の中から特徴のある道の駅を組み合わせて選んではどうかと思います。また委員の方より、ここはいいんじゃないかというところがありましたら、出していただいて、勘案しながら、決定をいたしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは事務局より候補地の説明をお願いします。

◎事務局(柴田 監)

(資料に基づき説明)以下要約

前回の建設産業委員会での議論を踏まえ、国の「3 ステージ認定」を受けた10団体への視察が現時点では情報収集に適さないと判断し、別途候補地を選定した経緯を説明した。

候補地は自治体人口が最多で約1万5千人、最少で数千人規模の範囲から選定されており、全国各地の特色ある道の駅が挙げられた。

候補地として提示された道の駅は以下の通りである。①「道の駅とみうら」(千葉県南房総市):国土交通省の全国モデル道の駅に選定され、南房総市内に8つの道の駅が連携して取り組んでいる事例。②「道の駅 センザキッチン」(山口県長門市):港に隣接した道の駅の整備事例。③「道の駅若狭小浜」(福井県小浜市):指定管理者がDMO(観光地域づくり法人)である事例。④「道の駅さかい」(茨城県境町):自動運転バスルートの一つとして、コンテナハウスを活用した施設整備を行っている事例。⑤「道の駅くるくるなると」(徳島県鳴門市):フェーズフリーの考え方に基づく建物デザインを採用した防災型の道の駅。⑥「道の駅世羅」(広島県世羅町):情報提供による街中誘導を推進している事例。⑦「道の駅山陽道矢掛宿」(岡山県矢掛町):町全体が道の駅コンセプトで、物販よりも情報提供と宿場町への玄関口機能を重視している事例。⑧「道の駅藍ランドうだつ」(徳島県美馬市):重要伝統的建造物群保存地区「うだつの町並み」に隣接し、臼杵の町中の条件と類似点がある事例。⑨「道の駅保田小学校」(千葉県君津町):廃校となった小学校を道の駅に改修した全国モデルで、利用者が非常に多い事例。⑩「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」(京都府南山城村):地域商社を設立して6次産業化を推進している事例。

視察コースとして複数の工程案を提示した。「南房総方面コース」は、大分空港から羽田空港経由でレンタカーを借り、アクアラインを通して南房総市へ向かい、南房総市役所での聴取と複数の道の駅視察を行うものである。「四国・中国統合ルート」は、臼杵港から公用車ハイエースをフェリーに乗せて四国に渡り、鳴門市の「道の駅くるくるなると」を初日に視察、翌日は美馬市役所と「道の駅藍ランドうだつ」を視察後、瀬戸大橋を渡って岡山県矢掛町へ移動し視察を行うものである。「四国方面コース」は、フェリーで八幡浜に渡りレンタカーを借りて鳴門市・美馬市を回るものである。「中国地方ルート」は、朝7時に公用車で臼杵市を出発し、大分道・九州道・山陽道を経由して岡山県矢掛町まで約4時間半かけて移動し、矢掛町役場での聴

取・道の駅視察後、広島県世羅町に宿泊、翌日世羅町役場と道の駅世羅を視察し、山口県長門市へ移動して道の駅センザキッチンを視察するものである。

なお、美馬市役所の議会事務局ホームページによると、１０月から１２月の間は議会の都合で視察受け入れを停止していることを報告した。対応策として、議会を通さずに道の駅の駅長等から直接話を聞く方法も検討できると述べた。

◎都市デザイン課参事監(矢野 健)

(事務局説明に係る補足説明)

○委員長(芝田英範)

今現在、執行部から４コース、１つは千葉、そして四国地方、四国地方と中国地方、それと岡山から広島中心の中国地方の４つのコースが提示されましたけど、その他委員の方でここはというところがあれば、上げていただいてもよいのですが、何かありませんか。

○委員の意見

・重要なのは、現場を見に行くのも必要と思うが、何を見に行くのかだと思うので、白杵に道の駅を作るとすればどんなものを作ったらいいのかなという目的で視察に行く、今年はそういう年なのかなあと思う。

・皆さんがどういう道の駅を作りたいと思っているのか聞きたい。

・私は流通基地を併設したようなところにしたい。どこまでの人が来てくれるのか、よそと何が違って生き残りができるのかと考えた時、フェリーの発着場でもあり、インターチェンジもそばにできる予定ということを踏まえ物流拠点、流通拠点を併設したようなものを選択したい。

・市長はどういう道の駅を作りたいと思っているのか。

・うきはフルーツとか、宗像だったら海産物とか、わかりやすいけど、食文化と言っても何を売するのか、集客の目玉は。

・白杵市では、平成１１年から１２年ぐらいから、道の駅構想が浮上し、その都度、各議員方から質問が出ていたと思うんですけど、何で途中で無くなったか会議録を読めみると、何を売るかというところで、今それがないから、まずは土づくりセンター作って、有機野菜を作って、まずは売るものをつくってから誘致をしようっていう話になっていた。

・農産物の動向や海産物がどうかじゃなくて、私が聞きたいのは、やっぱり形態(経営体制)はどうしているのか、ここを勉強しないと。視察先はどうしているのかというのに重点を置いて勉強したいなと思う。

・やっぱり行くのならどういった形態(経営体制)でやっているのか、財団、株式会社、ＪＡの３種類なら３種類のところを見たい。失敗する可能性大だから成功しているところから学んだ方がよい。

・福井県の小浜市の道の駅わかさおばまが、指定管理者がＤＭＯとなっているがそこはどうか。

○委員長(芝田英範)

意見が出ましたが、小浜にしますか。

中国、四国という案もありますが。

○副委員長（大塚州章）

どういう組織がしているか、運営母体がしっかりしていてしっかり話をしてくれるところがいい。そこともう一か所。

○委員長（芝田英範）

皆さんよろしいですか、道の駅わかさおばまを中心に、福井、滋賀、京都あたりを新幹線とレンタカーで回れるエリアでもう一か所別の形態のところを探し、そこが厳しい場合は、中国地方の広島、岡山あたりを探すということによろしいですか。

○委員

はい。

◎事務局（柴田 監）

相手がありますので、小浜を最初に抑えて次を探します。

○委員長（芝田英範）

それでは事務局、ぜひとも説得してください。

以上で建設産業委員会を終わります。

お疲れさまでした。

午後2時17分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和8年7月29日

白杵市議会

建設産業委員会委員長 芝田 英範